

南地区 地区別懇談会 意見まとめ

開催日時：12月18日（日）14時～16時

参加者数：会場：68名、オンライン：8名 グループ数：会場：14グループ（A～N）、オンライン：1グループ

分類方法：ラウンド1で出た意見を、ワードや内容から分類・整理し、多い順に並べています。ラウンド2・3の意見は、ラウンド1の分類を元に紐づく意見や近しい意見を整理しています。

下記の票は、分類と意見をラウンド順に左から右へ、確認できる形にしています。

※ 表中の意見末尾の（ ）はグループ名を表しています。

分類	ラウンド1：(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (146 件)	分類	ラウンド2：(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(138 件)	分類	ラウンド3：(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(121 件)
子ども(31 件)	(全般：9件) ・笑顔、子どもがイキイキしているとまちが活性化。(A) ・子どもにはニコニコ、存在そのものがいい。(D) ・赤ちゃんと接するといやされる、ワクワク。(D) ・南町田も近いし子どもとの関わりがポイント。(E) ・リモートワークで孤独を感じる人が多い。子どもの声を聞くとほっとする。(G) ・子どもがイキイキしているのを見るとワクワクする。(I) ・子どもたちの成長をみられるのもうれしいし、ワクワクする。(I) ・自分の知らないことを子どもと一緒に広げる機会がある。(J) ・広くて緑の多い公園で幼児が遊んでいるが、その声を聞くとうれしい気持ちになる。子どもの声は癒しになる。(オンライン)	子ども(27 件)	(全般：2件) ・「楽しんでいるオヤジ」、「楽しそうなオヤジ」の姿をみて育つことが大切。(D) ・ファミサポを全世代に広げる。(E)	子ども(19 件)	(全般：2件) ・子どもとも楽しく接する、親の立場、子どもの立場いろいろ。(D) ・子ども会に所属しなくても何か企画・関わりできるとよい。(K)
	(居場所・遊び場：8件) ・孫が生まれて、まあちがあって、いい施設がある。エレベーターがあることに気づいた、必要性を感じた。(B) ・アグリハウスに子どもが来る、ハキハキ質問攻め、お金の感覚ある。(D) ・自由に遊べる場が少ないが、場所があればのびのびできる。元気をもらって循環できるとワクワクする。(D) ・鶴間公園の立て看板には禁止事項がない。「風邪ひかないで遊ぼうね」というメッセージをみると、ワクワクする。(D) ・子どもの遊び場ができる。(H) ・子どもたちの遊べる場を作る(高齢者と一緒に)。(I) ・イベント、ふらっと入れる子どもの居場所があるとワクワク。(K) ・子どもが入れるお店があるとよい。(K)		(居場所・遊び場：4件) ・小さい子どもの遊び場づくり、歩行者天国とか、道路に落書き。(F) ・ゴム飛びやりたいね。(K) ・今の子どもは外遊びが少ない。(K) ・子ども食堂ともつながりをもって協力してやっていくことを考えている。コロナ禍の当初は ZOOM を活用していた。(オンライン)		(居場所・遊び場：6件) ・場をシェアできるように(子ども食堂など)。(B) ・コロナ禍で学童は今までの活動に差がある、何をやっていけばいいのか悩んでいる。(B) ・道路を一部通行止めにして、子どもたちが自由に遊べるようにする。(I) ・子どもたちが安全に遊べる公園(グラウンドも人工芝にする)。(I) ・イベント企画→子どもとのかかわりでは子ども食堂の方が、あいさつが大事の意見出していた。(K) ・市民センター、ばあん、農協を全部一緒にして、みんなが集える場所をつくる、子どもの城みたいな。(M)
	(イベント：6件) ・子どもが体験できるイベント、楽しめる。(A) ・子どもたちが地域でイベントをしたり、子どもたちの声が聞こえるまち(笑顔)。(I) ・お店などに子どもたちの絵を展示したりすると子どもが集まる。(I) ・お金(使い方)について子どもたちに教えてくれる場があるとよい。(I) ・お祭りチックなことをする(子どもたちと)。(I) ・子どもにとって「ワクワクするまち」は自分で楽しめるイメージがもてること。不得意の意識があると参加しないことが多いが、そこに声をかけて参加を促すこともできると思う。(オンライン)		(イベント：4件) ・「子ども金融教室」、「金融セミナー」、地域とのつながり。(F) ・ひまわり畑・収穫体験を保育園等子どもを招く場として使ってもらいたい。(G) ・ふくしフェア等で昔遊び再開している。(K) ・野津田に「紙ひこうきクラブ」がある。(K)		(イベント：1件) ・子どもセンターばあんの「ばあんブリッジ」で「昔遊び」(輪投げ、紙ひこうき等)のイベントの協力している。(G)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (146 件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(138 件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(121 件)
子ども(31 件・ 続き)	(学校・部活動:3件) ・子どもたちが元気に学校へ通えるまち。(B) ・学校とのつながりの中で地域とつながっている。(C) 地域と学校との交流、商店も巻き込む。(C)	子ども(27 件・ 続き)	(学校・部活動:4件) ・PTAに関わる人を増やす、参加しやすい場をつくる(F) ・読み聞かせ→学校を使う(H) ・小学校での昔遊び、サマースクール、コロナ前に実施していた。(K) 一度、活動止まるとパワーが必要→再開に向けて、学校から地域からどちらから声をかけるか。(K)	子ども(19 件・ 続き)	(学校・部活動:4件) ・学校で子ども主体は大変→市が呼びかけてくれるといい。(B) ・学校で子ども主体は大変→社協の方の主催もいい(B) ・放課後こども教室に中学生のボランティアを。(B) 放課後こども教室、保障の問題をクリアすれば。(B)
	(子どもの意見表明・参加:2件) ・子どものイベント企画(成人式イベントを手伝った)、ばあんは低学年だと行きにくい。(K) ・子ども主体のイベントの検討。(K)		(子どもの意見表明・参加:5件) ・子ども主体でイベントを考えてもらう、まあちでもやっている→地域主体に！(B) ・子どもにチャンスと権利を考えてくれるのはワクワクを与えてくれる。(D) ・地域の中で職場体験。(F) ・ばあんの委員会に中学生が関わっている。(K) ・みんなでごはん高校生が来てくれている。(K)		(子どもの意見表明・参加:4件) ・子どもだけで運営できるイベントなどが必要。(C) ・多世代交流(子ども・高齢者)とか限定せずに。他のグループで大学生が企画していた。(K) ・子ども主体の企画←高齢の方にスマホ活用を教える(K) ・ボランティア(実習)で子どもが介護施設に来る。(K)
	(見守り:2件) ・登校の見守りをきっかけに子どもと顔見知り。(E) ・子どもの登校時あいさつしてくれると楽しい。(K)		(見守り:1件) ・登下校でのあいさつをする(まち全体があいさつできる)。(N)		・(見守り:0件)
	(交流・つながり:1件) ・子どもを軸に地域を盛り上げよう、どんどん知り合いが広がる・充実する、やめられない。(D)		(交流・つながり:7件) ・0～3歳の親子の集いの会(つるまっこひろば)、パパ・ママ同士のつながり。(A) ・子ども会の活動のなり手がいない⇔PTA(D) ・子ども会の存続、PTAと近づいていくこと。(D) ・子どもがリアルな地域を感じる、子どもは漠然と社会とつながっちゃっている。接点→関心→行動(D) ・保育園の親御さん同士のつながりが希薄になっている、交流の機会が必要。(G) ・「お父さんやってみて！」で親子交流。(K) ・大学生と子どもたちと交流を増やす。(N)		(交流・つながり:2件) ・子どもの送り迎え→地域のつながり、友達のお父さん・お母さん(A) 高齢者訪問はあるが、不登校等の子どもへの訪問・つながり方法がない。(K)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (146 件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(138 件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(121 件)
お祭り・イベント (14 件)	・ お祭りが大好き(今はストップしていてさみしい)。(B) ・ 誰でも参加できるイベント、たくさんあるとよい、お祭りなど。(C) ・ 様々なイベントでそれぞれがやりたいことに参加するのがよい。(G) ・ 盆踊り等、様々なイベントがあるとよい。(G) ・ 昔はいろいろなイベントがあったが、トラブルのリスクを恐れすぎやらなくなってしまった。もっと工夫をして実施する努力をすべき。「止めるのではなく、やってみる」。(G) ・ ウェルキャブの展示会の開催。(I) ・ みぎわホームの納涼祭を 23 年に再開。(K) ・ 地域のお祭りにワクワク(子育て終了後も地域で文化祭)、仕掛ける人、話し合える人がいるといい。(L) ・ 子どもも楽しめる夏祭り、冬でもちょうちんがありワクワク。(L) ・ イベントがある(非日常・ちょっとした変化)。(M) ・ イベント・お祭りなどが盛んなまち(運動会、オータムフェスタ)。(N) ・ コロナで中止だったが、再開すると喜ばれる。(N) ・ 季節に応じた、色々な年代にあうイベントがあると子どもにとっても良いと思う。自治会のイベントに呼んでもらうなども良いと思う。(オンライン) ・ イベントは準備や周知はやる側が大変な部分もあるので、イベント以外にも日常のちょっとしたことでも楽しさにつながることもあると良いと思う。(オンライン)	お祭り・イベント (14 件)	・ 行事に参加することで顔を合わせている、地域の人たちの顔(状況)が分かる、顔見知りになる。(A) ・ イベント→親も子どももワクワク(C) ・ 市役所使ってプロジェクションマッピングしたら面白い。(D) ・ 鶴間公園のイベントで多世代交流。(E) ・ イベントや人が集まる場になるべく参加する。(F) ・ ふれあいコンサートを〇ごと大作戦で実施した。出演者を町田市出身者にすることが多いが、それにこだわらず一流のプロを呼んだ。経済効果や学生がプロと交流する機会となった。(G) ・ 意見で出ている「昔遊び」とか具体的なことをどんどん実施して「こういうことあるよ」を広めていく。(K) ・ 企業のもったもの(場所・車)を利用したイベント。(M) ・ イベントにいろいろな人を巻き込む。(M) ・ 季節ごとにイベントを実施。(M) ・ イルミネーションはずっとやってほしい方と季節感を持ってやってほしい方がいる。電気をつかっているイメージがあるので工夫が必要。すずかけ会館に常設でLEDで何かできないか提案しているところ。(オンライン) ・ 納涼大会が2020年からできていないので来年こそと思うが、8月の暑い時期か、時期をずらすか検討している。イベントを少しずつ復活させたいが、コロナが気になる。(オンライン) ・ 福祉フェアについて、コロナ前の福祉祭では無料マッサージとして参加していたが、ふれあいが大事と考えた。イベントへの積極的な参加が大事と考えるが、自分たちに何ができるのか、地域に知ってもらうことも大事。(オンライン) ・ 平日と休日の違いはあると思うが、町田は自身の住む自治体に比べてイベントが多いように感じる。訪問マッサージも事業所単位で行うイベントもあるが、数は少ない。(オンライン)	お祭り・イベント (11 件)	・ お祭り→地域の人たちがお店を出していた(A) ・ イベントでつながり、また、次のイベントで顔見知りになる。(A) ・ 講演などに 200 人ぐらい集まるので、そういうまちづくりをしては。(B) ・ 負担が多いことはつぶれている＝食べ物企画もなくなっている(B) ・ イベントへの積極的参加。(H) ・ 大通りを使って綱引きをしたい、そしてそれを名物にする。(I) ・ お祭りがなくなってしまった、それに代わるものを！(I) ・ フリーマーケット・イベントで人が集まり、交流が生まれる。(J) ・ 信用金庫として「地元めし」とか機会があればまたやりたい。(K) ・ スポットのイベントをできるとよい。(K) ・ 止まっていたイベントを再開できたらいい。(K)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (146 件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(138 件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(121 件)
多世代交流 (12 件)	・子どもが食堂：高齢者施設が隣にあり連携している。(B) ・若い人たちと交流するイベントなど、大学生、企業などと一緒に、料理、食事会など。(C) ・ラジオ体操や企業とのコラボなど、お年寄りから赤ちゃんまで一緒に取り組めることにワクワク。「子どもと老人と区切らない社会」。(D) ・世代はグラデーションをキーワードに活動。(D) ・高齢者の「行きたい」を支えるお年寄りと子どもの交流。(E) ・多世代交流ができる場所。(E) ・現状は子どもだけになっている、高齢者の方との交流も大事。(I) ・子どもと高齢者の交流は高齢者にとってもうれしい。(I) ・子ども(幼稚園と保育園)と高齢者のふれあいサロンでのふれあいができたら、再開できたらいい。(K) ・若い世代が多い地域と高齢者が多い地域が連携。(N) ・スポーツなど、世代を超えて楽しめるイベントがあるまち。高齢者が先生になって子育て世代と遊ぶ機会をつくり、顔見知りの関係から助け合いの関係になると良い。(オンライン) ・高齢の方が陽だまりのベンチで楽しそうに話をしていると、こういうコミュニティは良いと思うので、そこに若者も入っていけばうれしいと思う。(オンライン)	多世代交流 (17 件)	・イベントに関わる地域で多世代がつながる。(A) ・地域の人たちと生活する、子ども～お年寄りが集えるイベント、つながり・ネットワークづくり。(A) ・子どもを中心にして異世代が交流を学校を拠点として(フェスタの復活を、見守り)。(B) ・観賞会など開いて大人も子どもも交流を！(B) ・各年代でできることを出し合う。(C) ・鶴間公園で様々なイベントをやっているが、「子どもは子ども同士で」というものが多く、多世代で楽しめるイベントを実施してみたい。(G) ・(イベントとしてラジオ体操とか、簡単にできることで)多世代との交流を生む。(I) ・子どもたちと高齢者との交流がコロナで閉ざされてしまっている。(I) ・多世代交流(つながる)できやすい場があると何か生まれる、多層性。(J) ・多世代交流できやすい場→今日みたいな場(J) ・鶴間公園(ばあんブリッジ)。(K) ・ばあんブリッジで多世代交流、子どもセンターとかいろいろな機関が関わっている。(K) ・団体の力が必要→ばあんブリッジにぜひ入って！(K) ・ばあんブリッジは有志のプロジェクト。(K) ・地域で子ども、お年寄りがお互いに知り合う。(K) ・コミュニティを重ねていくことが大事、子ども・高齢、この機会がない。(M) ・イベントを実施する中で多世代交流で貢献できるのではないかなと思う。高齢者支援センターで「昔遊び」のツールを使って、高齢者が先生となり子育て世代と交流している。(オンライン) ・ZOOM や LINE の講座もやって、そこで若い世代との交流が深まると良いと思う。(オンライン)	多世代交流 (3件)	・小・中学生⇄高齢者、スマホ、折り紙など教え合い(C) ・公園を使って交流をする、多世代交流(世代で分けないで)。(I) ・子どもと高齢者をつなぐ世代の人が発信してシェアする。(M)
交流・つながり づくり (10 件)	・人とつながりがあること、コミュニケーションがあることにワクワクする(地域と自治会をつなげたい)。(B) ・人材をつなぐ、町トレ、いろいろな作業、人と人をつなぐこと自体が楽しい。(C) ・全員の顔を覚えるのが楽しみ！お金もうけでない。(D) ・人と会ったり、人とつながる。(E) ・地域のベンチに座った時に知らない人とも話せる。(F) ・知り合いを作る、知り合いがいる。(F) ・様々な活動を通じて色々な人とふれあうこと。(G) ・話し相手がいること。(H) ・「ありがとう」の言える関係。(I) ・信用金庫と一緒に何か交流すること。(I)	交流・つながり づくり (7件)	・コミュニケーション不足(コロナ禍のため)。(A) ・知り合いを大勢つくる(シニアネットまちだ:カラオケをして知り合いをつくった)。(B) ・ネットワークをつなぐ。(C) ・地域の方と話をする。(F) ・できるところを探す、会話づくり、制度の枠から地域へきっかけづくり。(H) ・リアルな対話が可能になることが大切、実感。(H) ・サッカークラブチームを介して同じ価値観を有する人同士をつなげる→今あるものを活用していく(J)	交流・つながり づくり (7件)	・外国の人が住みやすいまち→地域に入っていける(A) ・異文化の交流。(A) ・つながりを求めている。(A) ・新年会でお酒が入ると知り合いになれる。(B) ・いろんな人と関わることによって解決できることがある、こういう会は大事だと思う。(B) ・今の関わりからワクワクできるものを探していく。好きなことへつなげる、知り合うこと、あいさつから。(H) ・地域の人と関わりを作っていきたい、障がいの人の事業をはじめた、地域とのつながりを作りたい。(K)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (146 件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(138 件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(121 件)
活動の担い手 (11 件)	・役割を担うのが大変になっている。(B) ・民生児童委員となり、みなさんと会うことでワクワクする、自宅から一歩出て、人とつながることで、役割として大変なこともやるが、みんなで話し合って軽減している。(B) ・役割があると力がわいてくる。(B) ・民生委員は 10 年後になり手がいるのか。(B) ・若手を増やすのがワクワクする。(D) ・隠れたいい人材がいるが、それを生かせないのはもったいない。(G) ・今の役割から一歩出る、ボランティアの域を超える、挑戦するとワクワク、人から礼を言われる。(H) ・若い世代が入ってこれるとよい(土地価格がずっとかけ台は少し高い)。(K) ・地域の独身の方も地域に関われる催し(接点)があると地域の担い手も増えそう。(L) ・ボランティアがたくさんいる、世代を超えて。(M) ・ボランティアの意義、学ぶ機会があること。(M)	活動の担い手 (7件)	・信金:地元めし、お弁当販売、交流を目指す、様々な智恵を出してもらいたい。(C) ・同じ夢(想い)のある人と集まる企画をやってみる、例:野外コンサート。(L) ・ボランティアさんが継続して来られるようにイベント(催し)をきちんと続けていく、個々の力を地域の力に。(L) ・企業にも地域にもよいことがある。(M) ・仕事とはまったく別の機会としてボランティアを行うと学びがある、面白い。(M) ・イベントのプロデューサーとして中心となる人がいると、人とのつながりや福祉が成長すると思う。(オンライン) ・ハロウィンイベントを有志で行ったが、子どもと保護者が中心。ここに高齢者など地域の方の協力も得られると良い。今回商店街に協力をいただいたが、イベントをきっかけに普段入ったことのない商店街の店に子どもが入ることで、新たなつながりも生まれると考えた。(オンライン)	活動の担い手 (7件)	・同志は一人でよい、一人でここまで来た。(D) ・知らない人にも声をかける。(F) ・商店街との交流。(I) ・30 代は子育て、仕事で大変、他の活動に関わりにくい→情報発信、コミュニケーションを大事にしていきたい(K) ・ボランティアマッチングの手段を工夫。(M) ・福祉分野だけではなく地域の企業などいろいろな団体とつながりを持つ。(N) ・学生の意見を聞く。(N)
拠点・居場所 (10 件)	・鶴間公園→イベントをよくやっている(予約制)(A) ・鶴間公園規模の公園がもっと増えるといい。駐車場がある(子連れは車で出かける)。(A) ・100m、500m と小さい範囲で小さな公園もあるといい。(A) ・「いつもある場所」がある。(F) ・カフェや公園で他の人の話を聞くのが楽しい。色々な目的で集まる場所があるといい。(G) ・まちやサロン、コロナ前に楽しんでもらっていた(どういうことがあれば楽しんでもらえるか伺いたい)。(K) ・南町田グランベリーパークの公園、市内の人も外の人もワクワク。(K) ・公園が安全に(きれいに←ゴミ、フン)過ごせる場所になるといい。(L) ・つくし野駅前に本格的なホールを作りたい。(L) ・鶴間公園は強みになる資源なので、例えば竹を使って流しそうめん、スーパーボール流しのイベントをしてつながりをつくるのもいいと思う。(オンライン)	拠点・居場所 (14 件)	・公園などで開く(青空・・・など)。(C) ・公園の活用。みえるように一回やっておくのもよい。夜の映画会とか(アメリカのような)。(D) ・「いつもある場所」(金融機関)としてスペースを貸す。(F) ・詩吟(声出し)をやっている、行う場をもっと提供してほしい。(G) ・居場所づくり、それから発展させる、誰でも楽しめる場。(H) ・自治会デビュー(今までサラリーマン)したことから、ワクワクを感じる場所がない(坂道だらけだし)、地域でつながる、支えることも限界があるが、集まる場所があれば。(I) ・昔はお寺、お宮さんが地域の役割を担っていた、地域の文化として場所等も提供してほしい。(I) ・高齢者も危険なく参加できる場。(I) ・駅前に「寄り合い」する場所があって、地域の問題、やりたいことを話し合う、交流する→高齢者支援センターはそういう場になっている(J) ・つくし野駅前にホール作るのが夢。(J) ・思っていることを引き出す、口にすることができる場をつくる。(J) ・地域の飲食店の空き時間、空きスペースを地域の資源にできるよう働きかける。(L) ・グランベリーパークとはあまり関わりがない。(M) ・民生委員はイベントに支援で入ることがあるが、企画から実施まで行うことはあまりない。イベントの対極にあるのが小さなコミュニティで、80 歳を過ぎた方がスマホの使い方を聞きにくることがあるが、こういうことを近くの公園などオープンエリアで「なんでも相談」のような形でやるのも良いと思う。イベントのように準備をしかりするものではなくても、公園等を使ってできるのではないか。(オンライン)	拠点・居場所 (12 件)	・鶴間公園での活動、清掃、ラジオ体操、作物づくりなど、様々な活動、発信。(C) ・「地域のことを考える場」必要。(F) ・希薄になった人間関係を作るのが難しい。そのためには集まる「場」が必要。例えばラジオ体操、キッチンカー。(G) ・対話の場を増やす。(H) ・井戸端、会話から知恵を生かす、考えていることを表現する場→差別をなくす働きかけ(H) ・ウェルキャブの体感、体験するところを展開する。(I) ・キッチンカーを公園におく。(I) ・今日みたいな場が月1回(定例)あると意見出し合い、悩み出し合いができる。(J) ・駅前の「寄り合い」は有用。(J) ・空き家活用もあり。(J) ・家族介護者・ヤングケアラーの方の何でも話せる窓口があるといい。(K) ・みんなが集まれる場。(K)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (146 件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(138 件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(121 件)
活動のしくみ (9件)	・ひとつの場所でいろいろなグループがかかわるといいのでは。(B) ・(スポーツ)ポスターにも禁止事項を書かないことが大切。(D) ・自由でいることが大事、チャレンジできる(しばらくれない)。(F) ・関心ごとでグループ結成(カラオケ、グラウンドゴルフ、映画等)→よこつながりなし(J) ・コロナに対する意識を変えてワクワクしたことを再開する。(K) ・やる・やらないかかわらず考えてみる。(K) ・脱効率！「楽しい」を大切に。(L) ・近くの団体とコラボ(連携)するとよい。(L) ・主導側がワクワクすることが大切。(N)	活動のしくみ (9件)	・やらされ感ではなく主体的にできるとよいが。(I) ・楽しいことだと人が出てくる集まる。(J) ・何かイベントを企画するとき、団体の力が必要。(K) ・若い人を呼び込みたい、ディズニーランドのような仕掛けが必要かも。(C) ・ワクワクにはやりたいことの「どうせ無理」ととばらうこと。(D) ・スペースとマンパワーはある。「おおらかさ」を「市レベル」でやっちゃおう。(D) ・母親が外出できる方法を考えるとワクワクする。(D) ・全員で取り組める仕組みづくり。(D) ・1年目だけでなく、何年も先まで、成長させて大きくしていくイメージで計画していくことも大事。強制的なつながりではなく、徐々につながっていくことが大事と考える。(オンライン)	活動のしくみ (15 件)	・自由な感じで取り組めるとよい。(C) ・価値観、金銭感覚、自由時間などが合わない人たちの集団をどうまとめるか。(C) ・何かしないといけないと考えてしまう、肩の力を抜いて考える、地域と会社は違う。やれる人がやる、やれる時にやる。(D) ・自分が楽しくやる、楽しんでやる活動に、協力してくれるようになった。(D) ・おやじが楽しんでいること、みんな楽しくなる。「○○しないと」と思っ一生涯懸命やるとダメな感じ。楽しくやる義務感でなく、大人が楽しめるようにしないと。大人が楽しむ！(D) ・楽しんでいればみんなも楽しい。(D) ・うまくやろうと思わない。失敗してもともと。(D) ・過去にとらわれず、これから先のことを考える。(F) ・何かを少しずつ実行することが活性化の素になる→結果がワクワクである(J) ・世代ごとに関われる部分が異なる。(K) ・「ひとりの夢」→ALL まちだ「みんなの夢」になれる仕組みづくり→広報？企画？話す場づくり？(L) ・ワイワイ気楽に話そう、定期的にタウンミーティングしてもよいかも、ちゃんとしてなくても OK。(L) ・新しいアイデアを生むには、いろんな人と話すといい。(L) ・言い出しっぺ、地区協を絡めると実現できそう、安心感、会場費ゼロ、広報力。(L) ・キッチンカーが自由に出せるよう声をあげる。(N)
まちのイメージ (8件)	・安心して過ごせること、安心・安全。(B) ・安心安全が大事。(C) ・「変化」がある。(F) ・おおらかさをつくる。(F) ・きれいなまちづくりをする。(I) ・人を呼び込む。(K) ・みんなで共有するまちづくりのコンセプトがある。(M) ・子どもたちやお年寄りの笑顔がうれしい。(N)	まちのイメージ (1件)	・安心安全が大事。(C)	まちのイメージ (4件)	・静かな環境を望む人たちもいる。(B) ・誰もがここに住んでよかったと思える環境をつくる、できるといい。(K) ・子育てを楽しめて町田に住めてよかった。(K) ・町田はきっかけがあれば実現できる力のあるまち。(L)
まちの機能 (7件)	・街灯が増えるといい。(A) ・整備された地区とそうでない地区でも違う。(A) ・バス便減っている、不便→安全・安心に加えて便利なまちづくり。(J) ・前にすずかけ台駅前の開発の話があった。(K) ・医療がきちんとしている、病気の心配がない。(M) ・大学がある。(M) ・新しいお店ができたとき。(N)	まちの機能 (5件)	・キッチンカーなどいろいろなお店があるとよい(規制を外す)。(C) ・ホームセンターが近くにあるとよい。(H) ・歩道(自転車の指導)を安全に使えるようにする、小さな村。(H) ・コミュニティバスは高齢者の買い物に必要。(J) ・医療がきちんとしている→病院に行く手段の確保(M)	まちの機能 (2件)	・鶴川の駅のようになるといい(つくし野、すずかけ台、何もない)。(B) ・コミュニティバスは有用。(J)

分類	ラウンド1: (1) 毎日ワクワクするのってどんなまち？ (146 件)	分類	ラウンド2: (2) 「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(138 件)	分類	ラウンド3: (2) 「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(121 件)
健康づくり・スポーツ (7件)	・週3回テニス、少ない人数でもできる。(A) ・ランニングできる場所。(A) ・野球、サッカーをする場所、広いスペース→子どもがワクワクする(A) ・鶴間公園→テニス、サッカー場、ラグビー、運動ひろばはランニングにいい(A) ・楽しいこと、サッカーなど。(H) ・公園等で運動をきっかけにつながる。(I) ・ワクワクの根底は健康だと思う。調子が悪いとワクワクすることがあってもワクワクにつながらない。健康でいることをベースに、地域や企業等でイベントが行われていると「行ってみよう」となる。福祉フェアでマッサージの無料体験として参加したが、普段会わない方にマッサージを通して健康を伝え、気持ちよかったと笑顔をもたらえた。(オンライン)	健康づくり・スポーツ (1件)	・健康であること、ちょっとした楽しさの共有、つながりが大事。気持ちの健康も大事で、「ワクワク」の肯定する気持ちにつながる。気持ちの健康のためには人とのつながりが大事。(オンライン)	健康づくり・スポーツ (2件)	・つながりコミュニケーションを図りたい、スポーツだけでないつながり。年齢関係なくできるスポーツのつながり(例、ゴルフとか海外のスポーツ)を企画して実施したい。(D) ・鶴間公園でウォークラリーのイベントが来年予定されている。(G)
防災・防犯活動 (5件)	・近隣の自治会同士が防災訓練などでつながること。(J) ・防災訓練も楽しめるといい、楽しい遊びの要素大切。(L) ・ペットの防災、サバイバル防災やりました。(L) ・災害時に顔見知りになれる(安心・安全につながる)。(N) ・パトロール用の車としてパトカーのような車を新調したら子どもが手を振ってくれたり、自分の気も引き締められるし良かったと思っている。パトロールに初めて参加した人からの感想等を聞いて、参加することで感じることもあると感じた。(オンライン)	防災・防犯活動 (1件)	・顔見知りになると災害時に助け合える。(A)	防災・防犯活動 (1件)	・防災訓練の旗立てで近隣との交流ある。(K)
自治会・町内会、子ども会、老人クラブ (4件)	・このグループは「藤」(名前)のつながり、藤原つながり。いろいろな方と会える。(D) ・コミュニティのよさを感じるイベントを成功させる→自治会が基本→自治会のメリット知る→マンション難しい(J) ・自治会のメリット→災害時に支援が入る。(J) ・駅前にイルミネーションをしているが、LED 看板で自治会でやっていることを示しており、それを見て感想等声をかけてもらえること。(オンライン)	自治会・町内会、子ども会、老人クラブ (6件)	・町内会で季節ごとの行事を開催。(A) ・子ども会の復活。(A) ・地域と自治会のつながりとして、1年間だけでなく、地域とのつながりが大事(となり近所で)、自治会に加入しましょう(共助)。(B) ・自治会と老人会とか連携が必要(地域の回覧板などで周知する)、老人会とまめに連絡を取り合う。(I) ・町内会、老人会、子ども会とのコラボで何かする。(I) ・お祭りも1つの自治会では難しくなるのでコミュニティを広げて実施する。(M)	自治会・町内会、子ども会、老人クラブ (10件)	・町内会の行事。(A) ・老人会・自治会・子ども会など、連携が必要。(B) ・老人会・自治会・子ども会など、市から外部委託で運営を任せると？(B) ・自治会の役員の半数は現役世代(テレワークなどで)ではあるが、自治会はメリットが問われる→つらい(B) ・町内会、PTA など、なぜ参加しないのか、役割が多いからかも。(C) ・地域の問題を解決できるか、町内会 orPTA ? (C) ・町内会の回覧の機能をよくする(期日切れの回覧が回ってきた)、回覧の充実、自治会の組織図の徹底。(I) ・町内会・自治会の加入の話が他グループで出ていた。(K) ・町内会の壁を超える必要ある、1つの町内会だけで解決しようとしなくてもよいかも。(L) ・自治会に入る魅力を伝える。(N)
あいさつ・声かけ (4件)	・あいさつ。(C) ・お互いが知り合ってあいさつすることが大切、声をかけあう、顔を覚えること。(D) ・声をかけ合う、会話する。(F) ・声が出せる、近所同士で声かけられる。(F)	あいさつ・声かけ (3件)	・「ありがとう」の言える関係が基本(あいさつができることが基本)。(I) ・あいさつを交わす関係づくり。(I) ・あいさつをする(顔見知りだけで安心する)。(N)	あいさつ・声かけ (2件)	・「おはようございます」より「いってらっしゃい」の方が強制的ではなくてよいと思う。(I) ・「ありがとう」の声かけがコミュニケーションのはじめ。(J)

分類	ラウンド1: (1) 毎日ワクワクするのってどんなまち？ (146 件)	分類	ラウンド2: (2) 「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(138 件)	分類	ラウンド3: (2) 「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(121 件)
情報発信・共有 (3件)	・ 発信↔受信がうまくいくとよい(C) ・ 情報交換の場(気軽に)。(F) ・ まちや地域のイベントが定期的に行われることが良いと思うが、「毎日ワクワク」を考えると、イベントの準備も含めると良いのではない。成長・進化するイベントで、当日までの準備の過程で情報発信の仕組みを駆使しながらやっていくなど。イベント後にメディアの協力を得て記事を出してもらうと、それを後から見ても「楽しかった」と盛り上げられる。(オンライン)	情報発信・共有 (9件)	・ ワクワクを隠さずに生きる(発信)。(C) ・ 情報が伝わらない、情報があまり入ってこない。(D) ・ 場所があれば学生・子ども来てくれる→情報をどう伝えるか、チラシを配っている。(K) ・ 様々な経験のある方にボランティアになっていただくために、地域でやっていることを広報していくとよい。(L) ・ どんな人なのか、どんなことができるのか、SNS を使って発信するなどでもできるのではない。介護の現場ではデイサービスの事業所の方に「自分でできるマッサージ」を教えたと、そのようなことを広めることもできるのではない。(オンライン) ・ 情報共有や取りまとめを行う組織が出来上がれば、それぞれのイベントが単発で終わらず、相乗効果があると思う。(オンライン) ・ 防災も QR コードを使って広めたり、簡単な仕組みでできることがあるのではない。情報ツールをうまく使って、人がいなくても情報を共有できるような仕組みもおもしろいのではない。(オンライン) ・ YouTubeでの発信を地域に発信できると良いのではないと思う。(オンライン) ・ YouTubeでの発信について個別のリクエストがあれば協力できることもあると思う。(オンライン)	情報発信・共有 (11 件)	・ イベントの告知方法(いっせいに情報が届くようなアプリ)。(A) ・ 使い続けるための工夫(アプリ)。(A) ・ 若い人を巻き込んで若い人に発信できるメディアでツイッターとか。実行委員になってアイデアに出会えるイベントやれるとよい。(D) ・ それぞれの活動がボランティア募集の情報を紹介する HP(市の HP の中に)があるといい。情報発信。(E) ・ 地域状況を把握する、情報を発信する。(F) ・ もっと今ある場を活用すべき、今やっている場の情報提供をもっと行う必要がある。その際、周知の方法に工夫が必要(掲示板、ビラをただ貼るだけでは見ない人が多い)、例えば電子看板の導入、民生委員による情報提供。(G) ・ 自ら参加する、情報を得る。(H) ・ 今やっている企画(イベント)情報を知れる、わかる、発信できるとよい。(L) ・ 広報するものをワクワクするものに！(デザインの力)。(L) ・ 情報の周知方法を変える、若者世代も見るように(ツイッター、インスタ)←若者ボランティアにやってもらう(M) ・ どこに行けば情報を得られるかわからない→ポータルサイトがない(M)
ICT 活用(情報発信・共有以外) (3件)	・ スマホを使いこなす、一対一がよい、ラインは有効。(H) ・ スマホでコミュニケーションアップ、集合より一対一、覚えるとワクワク。(H) ・ ペイペイのキャンペーンはワクワクした。80代の母もそれをきっかけにスマホを教えて活用するようになった。(オンライン)	ICT 活用(情報発信・共有以外) (6件)	・ スマホを有効利用して LINE で朝礼をやってはどうか(朝におはよう！と)、スマホはみんなに個別に教える。(B) ・ 若い人とのつながりをつくるには SNS を活用してアプローチする。(B) ・ スマホの活用ーやさしく使えるー(H) ・ タブレットを活用して会議に参加できるようにしたり、タブレットの使い方のサポートをしてオンラインの苦手意識をなくせるようなイベントができればと思う。スマホ教室を 11 月にやって好評だったので、自治会でもできたらデジタル化の取り組みのひとつにできたらと思う。(オンライン) ・ 天気の良い日にスマホ教室は良いと思う。高齢者支援センターでもお手伝いができるのではないと思う。(オンライン) ・ スマホ教室は時間と場所が大事と考えるが、タイミングが大事。人間とツールがあれば一人でもできるようなことがあれば、それが広がっていくと良い。(オンライン)	ICT 活用(情報発信・共有以外) (4件)	・ オンラインをもっと活用。(A) ・ アクティボの利用。(M) ・ スマホ等の使い方を教えるだけでなく、それを活用する方法を教える。(M) ・ 市民センターに Wi-Fi を導入。(M)
支え合い・助け合い・見守り (3件)	・ 人の役に立つ。(H) ・ 買い物支援活動ある。(J) ・ 75 歳以上の高齢者を民生委員として訪問しているが、96歳の方からLINEの友だち参加をもらったのがすごくうれしかった。何かあったときのために民生委員とのつながりを持ちたいと思ってくれたことがうれしい。これが広がれば日常も楽しいのではない。(オンライン)	支え合い・助け合い・見守り (2件)	・ 助け合い: 塾の送り迎え→できる人がやる→自分でできる時に恩返しをする(A) ・ 巡回見守り。(E)	支え合い・助け合い・見守り (5件)	・ スポーツチームの中ではやっている、助け合い、できるところから(専用アプリ等があると便利だが)。(A) ・ 話を聞いてあげる。(F) ・ 相手のことを考える。(F) ・ 移動支援を仕事にする。(J) ・ R2 の A では「助け合い・支え合い」の話が出ていた。(K)
活動に向けた姿勢 (0件)		活動に向けた姿勢 (4件)	・ 高齢者の方は昔のことは言わないようにする(おもちゃの病院では昔のことは言わず直すことに専念する)。(B) ・ これからのことを考えることは大事。(B) ・ 「やってみる」が大事。(F) ・ 義務感ではなく、自分のために楽しんでやる。(N)	活動に向けた姿勢 (4件)	・ 負担感ーワクワク感(C) ・ 自分がワクワクすることが必要。(C) ・ 仕事や所属などを超えて相手の立場に立つ。(F) ・ 達成感をあじわう(料理やおもちゃ病院など)、特別ではなくてもできること。(H)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (146 件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(138 件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(121 件)
美化・清掃活動 (0件)		美化・清掃活動 (2件)	・ 美化活動(ゴミを拾う)。(E) ・ 横田さんからひまわりの種を提供していただき、南地区にひまわりをたくさん咲かせたい。(G)	美化・清掃活動 (1件)	・ 早朝の掃除、外で出会う方々とあいさつする。散歩中の方々の顔合わせ、見守りになる。(I)
その他の活動 (3件)	・ たき火など。(C) ・ 資源回収で顔を合わせる「場」をつくる。(F) 料理教室の運営、雰囲気作る役。(H)	その他の活動 (1件)	・ 好きなもので集まる、団体が元気。(D)	その他の活動 (1件)	・ 学用品の「リユースの会」している、コミュニケーション生まれる。(D)
その他 (2件)	・ 身体の具合が良く起きた。(H) ・ 高齢化による空き家対策の話も出ている。(K)	その他 (1件)	・ 大和市で終活ノートなど、参考になるツールがいくつかありそう。(オンライン)	その他 (0件)	

＜市ホームページ・メール等から頂いたご意見＞

地区別懇談会への参加が難しい方に、町田市ホームページやメール等で「① ワクワクするまち」、「② ワクワクするまちの姿を実現するために、あなたができること」、「③ あったらいいと思う地域の活動」をたずねて、ご意見をいただきました。

南地区では、2名からご意見をいただきました。ご意見の内容は、以下の通りです。

① ワクワクするまち

- 安全で自然豊かな公園があり、四季折々の自然の変化を楽しめる。
- 何かしらのイベントや教養講座に参加出来る事。（町内の掲示板やコミュニティーセンター等へ出向かない人は案内書を見る機会はないが、新聞をとっていれば「広報まちだ」で知ることもあるでしょう。）

② ワクワクするまちの姿を実現するために、あなたができること

- 道路沿いに花を植え、世話をする。
- 知り合いに情報（案内書）を伝える程度。

③ あったらいいと思う地域の活動

- 道路沿いにベンチを置き、周りに草花を置いて育てる活動。
- 「広報まちだ」などにも色々なイベントが記載されているが、地域向けの小型版があると良いな。単純だけど脳トレ・軽い筋トレに良い散歩、途中お土産付きで。